

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農地等国土保全事業
事業主体 (連絡先)	栄村 (農林建設課 建設係 0269-87-3113)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (イ農業の振興と農山村づくり) (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,865,840円 (うち支援金: 2,090,000円)

事業内容

・原材料支給事業…要望のある地区へ村がU字溝や
縞鋼板を支給し、地元が農道や水路へ施工する。

(受益者は15%の負担金)

用排水路整備 L=564m

農道整備 L=32m



【縞鋼板敷設状況】

事業効果

農道を整備することにより、圃場へ大型機械の進入が可能となり、農地荒廃の拡大を抑えることができる。用排水路の整備は、維持管理作業の軽減とかんがい排水を確実に行うことができる。これら農業生産基盤を整備することにより、山間地の水田の多面的な機能が維持、発揮される。また、生産性が向上することにより農業の担い手確保につなげることができる。第3期原材料支給事業5ヵ年計画のうち20%実施完了。

【目標・ねらい】

- ① 耕作放棄地の抑制
- ② 共同化等による農業振興
- ③ 維持管理作業の軽減
- ④ 意欲向上と農業収益の増加

自己評価【 B 】

【理由】

農道舗装及び水路の整備により、維持管理の省力化が実現した。

今後の取り組み

これらの事業は、集落及び農家の分担金や役務を伴うことから、事業の規模や必要性、優先性が主体的に判断されることになり、事業完了後の利用度や満足度が非常に高い。今年度は第3期原材料支給事業5ヵ年計画の1年目となるので、限られた予算ではあるが、事業効果等照らし合わせ、計画の要望に沿えるように実施していきたい。また、継続的に取り組むことで、引き続き村の農業の発展につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある